

# 過去の会報「わかば便り」目次一覧

## 第59号 2018.10.01 発行

(1) 2018年度定期総会報告(事務局)	P. 1
(2) 代表就任ご挨拶(横山新代表)	P. 2
(3) 「生きている限り自立した生活」を目指して(東京理科大学 小林宏教授)講演会報告 (事務局)	P. 3
(4)同参加者アンケート	P. 10
(5)アクティブ歩行器体験レポート(会員)	P. 13
(6)第27回日本意識障害学会からの報告(会員)	P. 15
(7)みんなのひろば	
・詩「敏感な心」/自分史「研ぎ澄まされていく心」前編(会員・障がい当事者)	P. 19
・わかばの皆さまへのお礼の手紙(会員)	P. 21
・アロマセラピーの精油について/第2回「ラベンダー・アングスティフォリア」 (会員・アロマアドバイザー)	P. 24
・私のおすすめグッズ(会員)	
レッツリモコン・VR視覚刺激療法・大型ハンドマッサージャー・メンズシェイバー	P. 25
(8)編集後記等(事務局)	P. 28

## 第58号 2018.04.01 発行

(1)第26回日本意識障害学会に参加して(事務局)	P. 1
(2)わかば学習会・野田療先生の在宅運動療法について(事務局)	P. 10
(3)同参加者アンケート・会員報告	P. 16
(4)わかば学習会 原川静子先生の「簡単に安全に楽しく介護するためにパートV」レポート(会員)	P. 20
(5)同参加者アンケート	P. 23
(6)田原亮朝霞市議会議員のアクティブ歩行器治験の見学体験記(Facebookより)	P. 25
(7)総勢18名で行く、2泊3日の沖縄旅行(賛助会員)	P. 27
(8)みんなのひろば	
・近況報告(会員)	P. 31
・発想の転換から、新しい道が開けた?(会員)	P. 31
・「ブキャンプロテクター」の紹介(会員)	P. 34
・わかば便り57号に関するアンケート	P. 35
(9)編集後記等(事務局)	P. 36

## 第57号 2017.10.07 発行

(1)2017年度定期総会(事務局)	
①定期総会開催報告	P. 1
②定期総会代表挨拶	P. 2
(2)鈴木先生学習会報告(事務局)	P. 3
(3)黒岩先生 口腔ケア学習会(会員)	P. 4
(4)アロマセラピー学習会(講師)	P. 10
(5)「実践的な家族へのアロマセラピー」に参加して(会員)	P. 13
(6)アロマセラピーの精油について/第1回「ローズマリー・シネオール」(講師)	P. 15
(7)みんなのひろば	
・事故からの復活?—アクティブ歩行器との出会い(会員)	P. 16
・14年ぶりに歩いた息子!(会員)	P. 20
・高次脳機能障害と遷延性意識障害を経験した夫と共に(会員)	P. 22
・ディズニーランドへ(会員)	P. 26

・「ボッチャ」を体験してきました（会員）	P. 26
(5)編集後記等（事務局）	P. 28

### 第56号 2016.03.31 発行

(1)第25回意識障害学会（2016年7月、高松市）に参加して（事務局）	P. 1
(2)アスプロ実行委員会の取材を受けて（会員）	P. 6
(3)みんなのひろば	
・函館と黒部 二つの故郷へ（会員）	P. 9
・ご存知でしたか？（会員）	P. 11
・喜怒哀楽（会員）	P. 12
(4)編集後記等（事務局）	P. 12

### 第55号 2017.03.20 発行

(1)2016年度「話し合いの場」報告（事務局）	P. 1
①「頭部外傷」グループ	P. 2
②「病気等」グループ	P. 7
③話し合いの場参加者アンケート	P. 15
(2)簡単に安全に楽しく介護をするために～介護用品等の紹介と使い方～ パートIV（ナシグ サイエンスゲーム ケア技術開発部主任研究員 原川静子先生）学習会報告（会員）	P. 16
(3)わかば便り54号に関するアンケート	P. 20
(4)みんなのひろば	
・どじょっこふなっこ替え歌（会員）	P. 21
・Mさんからのメール（事務局）	P. 21
・投稿；前略「昨年の末から加わった自分の楽しみ」（当事者・伝の心によって）	P. 23
(5)編集後記等（事務局）	P. 24

### 第54号 2016.03.01 発行

(1)第24回意識障害学会（2015年7月、浜松市）に参加して（事務局）	P. 1
(2)「遷延性意識障害者への在宅リハビリテーションの可能性」 第24回意識障害学会におけるわかば会員発表（会員）	P. 8
(3)講演会「摂食嚥下障害の評価と訓練の実施（東京医科歯科大学、戸原玄先生）」	
・事務局概要報告	P. 11
・食べられる口をつくる～戸原先生講演会を聴いて気づいたこと（会員ブログより）	P. 11
・戸原先生講演会アンケート集計（事務局）	P. 14
(4)ミニ学習会に参加して（会員）	P. 19
(5)NHK「ハートネットTV」で会員の方が紹介されました	
・NHK「ハートネットTV」の取材を受けて（会員）	P. 20
・ハートネットTVを観て（会員等の感想、4名）	P. 21
(6)みんなのひろば	
・おかげさまで、在宅生活1周年を迎えることができました(2014/11/27)（会員）	P. 24
・おかげさまで、在宅生活2周年を迎えることができました(2015/11/27)（会員）	P. 25
・視線入力型意思伝達装置「マイトピー」について（会員）	P. 27
・お便り（会員）	P. 27
(7)編集後記等（事務局）	P. 28

### 第53号（紙屋克子先生特別講演会特集号） 2015.08.01 発行

(1)紙屋プログラムによる遷延性意識障がい回復事例一声なき声を聴きながらー（紙屋先生レジュメ）	P. 1
(2)失われた意識をとりもどすための看護（紙屋先生）	P. 3

(3) 事務局より (事務局)	P. 7
(4) 2015年1月17日実施アンケート集計 (事務局)	P. 7
(5) 2015年4月11日実施アンケート集計	P. 13
(6) みんなのひろば	
・紙屋先生特別講演会に参加して (当事者) (会員)	P. 17
(7) 編集後記 (事務局)	P. 18

## **第52号 (山海嘉之先生特別講演会特集号) 2015.03.01 発行**

(1) わかば学習会報告「サイバニクスが意識障がいにも挑む」(会員)	P. 1
(2) 山海教授講演会参加者アンケート集計 (事務局)	P. 3
(3) 山海先生講演会感想文 (会員3名)	P. 7
(4) サイバーダイナミクス スタジオ見学 (会員)	P. 11
(5) 事務局より	P. 12

## **第51号 2014.10.01 発行**

(1) 学習会 (2014年4月) 「復活した“脳の力” —あきらめない—」報告 (会員)	P. 1
(2) 第23回意識障害学会 (2014年8月、札幌市) に参加して (会員)	P. 5
(3) 「薬害・医療被害をなくすための厚生労働省交渉実行委員会 集会」参加レポート (会員)	P. 12
(4) みんなのひろば	
・函館帰郷 (会員)	P. 14
・俳句と私 (会員)	P. 18
(5) わかば便り50号に関するアンケートより (事務局)	P. 20

## **第50号 2014.03.31 発行**

(1) 学習会 (2013年9月、「障害者総合福祉法～新しい制度についてのお話」 厚生労働省障害福祉課課長補佐 高木憲司福祉専門官) 報告 (事務局)	P. 1
(2) 学習会 (2013年12月、「簡単に安全に楽しく介護をするために～介護用品等の紹介と使い方 パートⅢ」原川静子先生) 報告 (会員)	P. 3
(3) わかば便り48号に関するアンケートより (事務局)	P. 7
(4) バリアフリー旅行の持ち物リスト (会員)	P. 8
(3) みんなのひろば	
・メーリングリストより (会員)	P. 10
・返信はがき通信欄より	P. 12
(6) 編集後記	P. 12

## **第49号 (「わかば」結成15周年記念音楽会特集号) 2014.03.31 発行**

(1) 結成15周年音楽会と懇親会 (2013.7.11 蒲田) のご報告 (会員)	P. 1
(2) 木谷さんからのメッセージ (演奏者)	P. 3
(3) 10周年と15周年 (会員)	P. 4
(4) 音楽会に参加して (会員3名)	P. 5
(5) 音楽会の写真	P. 6
(6) ご欠席の方からのメッセージ	P. 10
(7) 音楽会御礼 (和田代表)	P. 11

## **第48号 2013.10.01 発行**

(1)学習会 (2013年4月、「口腔ケア・口腔リハのお話しと実技講習」、黒岩恭子先生) 参加報告 (会員)	P. 1
(2)第22回意識障害学会 (2013年7月、秋田市) に参加して (会員)	P. 4
(3)社会福祉法人「訪問の家」(横浜市) 訪問記 (会員)	P. 10
(4)自動排泄処理装置の使用テスト報告 (会員)	P. 17
(5)わかば便り47号に関するアンケート (事務局)	P. 20
(6)みんなの広場	
・メーリングリストより (介護施設について) (会員・子の介護)	P. 21
・黒岩先生の学習会に参加して (会員)	P. 22
・ふらっとつれづれ (ゆっくり時間をかけて手にする今) (会員・子の介護)	P. 22
・筆談とアイウエオボード (会員・子の介護)	P. 23
(7)編集後記	P. 24

## **第47号 2013.03.31 発行**

(1)平成24年度定例会「話し合い」報告 (事務局) 「話し合いを通じて新たな仲間をつくりましょう」	P. 1
(2)学習会 (2012年9月、「簡単に安全に楽しく介護するために～介護用品の紹介と 使い方パートII」、ナーシングサイエンスアカデミー、原川静子先生) 報告 (事務局)	P. 10
(3)ミニ学習会 (2012年10月、鍼灸按摩マッサージ師、鈴木秀秋先生) 報告 (事務局)	P. 12
(4)わかば新ホームページ開設のお知らせ (事務局)	P. 13
(5)みんなの広場	
・すわろう君について (会員・子の介護)	P. 15
・Hです (ケータイ音姫の紹介) (会員・夫の介護)	P. 16
・わかばの皆様へ (会員・妻の介護)	P. 18
・「生きている」を読んで (会員・兄弟の介護)	P. 19
(6)編集後記	P. 20

## **第46号 2012.10.01 発行**

(1)2012年度わかば定期総会報告 (事務局)	P. 1
(2)第21回意識障害学会 (2012年7月、富士吉田市) に参加して (会員)	P. 4
(3)第2回脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会 (2012年4月、秋田市) 参加報告 (会員)	P. 9
(4)横浜ミニ学習会 (2012年3月、鍼灸按摩マッサージ師、鈴木秀秋先生) 報告 (会員)	P. 12
(5)わかば便り45号に関するアンケート (事務局)	P. 14
(6)日本意識障害学会 (同上) にて学んだこと (会員)	P. 15
(7)わかばのランチの会の模様 (事務局)	P. 18
(8)みんなのひろば	
・発症から16年目経ちました (会員・子の介護)	P. 21
・日本意識障害学会 (同上) に参加して (会員)	P. 22
・電気料金値上げで思うこと (会員)	P. 22
・仙台訪問報告 (事務局)	P. 23
・返信はがきより (会員)	P. 24
(9)編集後記 (事務局)	P. 24

## **第45号 2012.03.31 発行**

(1) わかば学習会（2012年2月、大久野病院、富加見先生）報告（事務局）	P. 1
(2) わかば学習会（同上）レポート（会員）	P. 2
(3) 第20回意識障害学会（2011年9月、弘前市）に参加して（会員）	P. 6
(4) 意識障がい治療の進展（同上）の報告（会員）	P. 11
(5) 区長と語る車座集會に参加して（会員）	P. 14
(6) 障害福祉計画に対するパブリックコメント（会員）	P. 15
(7) わかば便り43号に関するアンケート（事務局）	P. 16
(8) みんなのひろば	
・小学校3年の息子が遷延性意識障害・後編（会員）	P. 18
・震災学習会（2011年9月）に参加して（会員）	P. 20
・福島からのお便り（会員、震災時の体験）	P. 21
(9) 編集後記（事務局）	P. 24

#### **第44号（3. 11東日本大震災と計画停電 特集号） 2012.02.01 発行**

(1) 「災害時の人工呼吸器やその他のベッド周りの電源を必要とする医療機器や介護用品について」 学習会（2011年9月、東京都医学総合研究所・小川一枝先生）講演内容（講師）	P. 1
(2) 計画停電対策確認票（講師）	P. 8
(3) 災害時の会員アンケート集計（事務局）	P. 11
(4) 同学習会アンケート（事務局）	P. 19
(5) 震災・計画停電から考えたこと（会員）	P. 21
(6) 編集後記（事務局）	P. 23

#### **第43号 2011.09.30 発行**

(1) 2011年度わかば定期総会報告（事務局）	P. 1
(2) わかば学習会（2011年4月、ナーシングサイエンスアカデミー、原川静子先生） 参加報告（会員）	P. 3
(3) 新潟ミニ学習会（2011年5月、鍼灸按摩マッサージ師、鈴木秀秋先生） に参加して・・・感想、その他（会員）	P. 5
(4) わかば便り42号に関するアンケート（事務局）	P. 7
(5) みんなのひろば	
・小学校3年の息子が遷延性意識障害・前編（会員）	P. 8
・クジラの涙（会員、子の介護）	P. 13
・ランチの会に参加して（会員）	P. 15
(6) わかばメーリングリストを開設しました（事務局）	P. 16
(7) 編集後記（事務局）	P. 16

#### **第42号 2011.03.31 発行**

(1) 2010年度定例会（2010年12月、村田歯科医院、黒岩先生）報告（事務局）	P. 1
(2) くるりーなブラシのレポート（会員）	P. 2
(3) 横浜にて「全国遷延性意識障害者・家族の会設立6周年記念講演会」・「交流会」 （2010年10月）が無事終了しました（事務局）	P. 3
(4) わかば便り38号アンケート報告（事務局）	P. 4
(5) みんなのひろば	
・娘の成人式（会員）	P. 6
・脳卒中の夫の看病（会員）	P. 7
(6) 編集後記（事務局）	P. 8

#### **第41号 2010.12.25 発行**

- (1) 第19回日本意識障害学会（2010年7月、下関市）に参加して（会員） P. 1
- (2) 2010年度わかば総会報告（事務局） P. 4
- (3) ケアホームを作ろう（会員、ケアホーム立ち上げ経緯） P. 5
- (4) わかばブログと個人ブログ「遷延性意識障がい（の妻を支えて）」の紹介（会員） P. 9
- (5) みんなのひろば
- ・意識障害学会（同上）に参加して（会員） P. 12
  - ・ランチの会に参加して（参加の会員） P. 12
  - ・行政活動・そして傍聴・・・行きませんか（事務局） P. 14
- (6) 編集後記 P. 16

#### **第40号（紙屋克子先生特別講演会特集号） 2010.03.25 発行**

- (8) 紙屋先生特別講演会（2010年10月）参加報告（会員） P. 1
- (9) 人間の可能性を引き出す看護—意識障害における生活の予後診断—（紙屋先生レジメ） P. 4
- (10) 紙屋克子先生プロフィール（事務局） P. 5
- (11) 紙屋先生特別講演会参加者アンケート報告（事務局）
- ・会員の方からのご回答 P. 6
  - ・会員以外の家族の方からのご回答 P. 12
  - ・会員以外の医療・福祉関係者からのご回答 P. 13
- (12) みんなのひろば
- ・紙屋先生特別講演会に参加して（参加者13名） P. 16
- (13) 編集後記（事務局） P. 20

#### **第39号 2010.03.25 発行**

- (1) 第18回日本意識障害学会（2009年7月、川崎市）に参加して（会員） P. 1
- (2) 学習会（2009年9月、鍼灸按摩マッサージ師、鈴木秀秋先生）報告（事務局） P. 2
- (3) 学習会（2009年12月、日本大学歯学部、戸原玄先生、国土交通省、高木修氏）報告（事務局） P. 4
- (4) ストレスに関する会員アンケートまとめ（事務局） P. 5
- (5) 障害者権利条約に係る勉強会（2009年9月）に参加して（会員） P. 9
- (6) 「わかば」と支援の輪（事務局） P. 11
- (7) みんなのひろば
- ・感謝で眠れなかった青森の夜（会員、青森ケア付きねぶた参加） P. 13
  - ・私とぼく（会員、夫の介護） P. 14

#### **第38号 2009.07.07 発行**

- (1) 2009年度総会報告（事務局） P. 1
- (2) 会員同士の話し合いサロン（2009年4月）報告（事務局）
- ・入院、入所グループ P. 1
  - ・在宅介護グループ P. 3
- (3) 会員同士の介護用品紹介サロン報告（事務局） P. 6
- (4) わかば定例会（2008年12月、筑波大学、日高紀久江先生）報告（会員） P. 7
- (5) 安全・安心社会の実現にむけて—交通と生活— 講座（2008年11月）聴講報告（会員） P. 10

(6) みんなのひろば

- ・生きててくれてありがとう（会員、夫の介護） P. 13
- ・あきらめないを合言葉に（会員、子の介護—通所施設センター長事例報告から） P. 15
- ・返信はがきから（会員） P. 16

**第37号 「わかば」結成10周年記念音楽会特集 2008.11 発行**

- (1) 家族の会「わかば」結成10周年音楽会と懇談会（2008年7月、横浜市）報告（会員） P. 1
- (2) みんなのひろば
- ・初めての電車移動（会員、子の介護） P. 5
  - ・わかばの会10周年記念パーティに参加して（会員、子の介護） P. 7
  - ・わかば会員と関係者が和気あいあいと集った音楽会！（会員、子の介護） P. 7
  - ・途中からの参加での参加でしたが（会員、子の介護） P. 8
  - ・楽しい音楽会（会員、夫の介護） P. 8
  - ・初めて参加した行事（会員、子の介護） P. 9
  - ・久しぶりの同窓会（会員、子の介護） P. 9
  - ・親子3人10年ぶりに外出（会員、子の介護） P. 10
  - ・感動しました（会員、夫の介護） P. 10
  - ・10周年記念音楽会が終わって（事務局） P. 10

**第36号 2008.11 発行**

- (1) 第17回意識障害学会（2008年7月、下呂市）に参加して（会員） P. 1
- (2) 2008年度定期総会及び学習会を行いました（事務局） P. 2
- (3) 8月27日厚生労働省を訪問しました（事務局） P. 3
- (4) 林与一さんからわかばへ（事務局）及び同舞踊会（2008年8月）を見て（会員） P. 5
- (5) みんなのひろば
- ・バリアをこえてさらに輝け命の炎（ほむら）！！（会員、青森ケア付きねぶた参加） P. 6
  - ・音楽運動療法のビデオを借りて（会員、夫の介護） P. 8

**第34, 35合併号 2008.03.15 発行**

- (1) 第16回意識障害学会（2007年8月、仙台市（会員）報告 P. 1
- (2) 第16回意識障害学会（同上）一般演題抄録  
「家庭でできる音楽運動療法を摸索して」（会員、子の介護） P. 4
- (3) 学習会（2007年9月、鍼灸按摩マッサージ師、鈴木秀秋先生）の報告（事務局） P. 4
- (4) 障害者自立支援法における「重度障害者包括支援」サービスについての会員アンケート  
調査結果（事務局） P. 6
- (5) みんなのひろば
- ・わかばに入会して（会員、子の介護） P. 7
  - ・日本意識障害学会（同上）に参加して（会員、子の介護） P. 8
  - ・皆様こんにちは（会員、子の介護） P. 9
  - ・学習会（同上）に参加して（会員、子の介護） P. 9
  - ・介護者の訃報に接して（事務局） P. 9
  - ・療護センターで「成人式」（会員） P. 10

**第33号 2007.05.15 発行**

- (1) 全国遷延性意識障害者・家族の会講習会（2007年3月、大阪芸術大学、野田燎先生）  
報告（事務局） P. 1

(2) わかば定例会 (2006年12月、会員同士の話し合い) 報告 (事務局)	P.	2
(3) みんなのひろば		
・8年目を迎える (会員、子の介護)	P.	4
・「わかば」に入会して (会員、子の介護)	P.	6
・「音楽運動療法の在宅における展開」講習会に参加 (会員、子の介護)	P.	6
・母から子への手紙 (会員)	P.	7

### **第32号 2006.12.15**

(1) 第15回日本意識障害学会 (2006年7月、大阪市) に参加して (会員)	P.	1
(2) 1対1の関係を大事にしてほしい (会員)	P.	3
遷延性意識障害者とは、救命救急センターからの転院、人間の可能性、 1対1の看護の必要性、退院後の不安、気持ちの整理		
(3) みんなの広場		
・やはりモーツァルト (会員、妻の介護)	P.	8
・事故から2年、初めてスーパーへ行きました (会員、弟の介護)	P.	9
・ふらっと つれづれ (会員、子の介護)		
及び小さな奇跡 (デイサービス施設長)	P.	10
・在宅介護になって (会員、子の介護)	P.	11
・一学生の感想 (理学療法士学生)	P.	11
(4) 2006年度わかば定期総会と学習会「音楽療法」 (2006年4月、インターナショナル養護学校) の様子 (事務局)	P.	12

### **第31号 2006.03.01 発行**

(1) 第14回日本意識障害学会 (2005年7月、高松市) 参加報告 (会員)	P.	1
(2) 定例会 (2005年12月、杉並区議、太田哲二氏) 報告 (事務局)	P.	5
(3) 全国遷延性意識障害者・家族の会設立1周年記念講演会 (2005年11月、大阪市) に 参加して (事務局)	P.	6
(4) 学習会 (2005年9月、鍼灸按摩マッサージ師、鈴木秀秋先生) 報告 (事務局)	P.	8
(5) 国土交通省との話し合い (事務局)	P.	9
(6) みんなのひろば		
・母との療養生活 (会員、母の介護)	P.	10
・ランチの会に思う (会員)	P.	11
・母から子への手紙大賞作品 一香へー (会員、子の介護)	P.	11
・介護生活はお互いの思いやり (障がい当事者)	P.	12
・会員からの近況報告 (会員)	P.	12

### **第30号 2005.08.01 発行**

(1) 頭部外傷による後遺症を持つ医療従事者として (鍼灸按摩マッサージ指圧師) 医療従事者として、患者として、さらに分かってきた、タッチング、手技マニュアル、 家族・医療従事者のセルフケア、後記	P.	1
(2) 2005年度定期総会と勉強会 (会員同士の話し合い) 参加報告 (会員)	P.	4
(3) 神奈川県議会の一般質問を傍聴する (会員)	P.	5
(4) 神奈川県福祉課へ事情説明に行く (会員)	P.	6
(5) 「障害者自立支援法案」が衆議院厚労委で突如可決 (事務局)	P.	6
(6) みんなのひろば		
・エンカウンターグループを実施して (事務局)	P.	7
・息子と私 (会員、子の介護)	P.	8



## **第29号 2005.04.01**

- (1) 全国遷延性意識障害者・家族の会「関東及び近県第1回交流会」（2005年5月、東京）に参加して（事務局） P. 1
- (2) 定例会（2004年12月、鍼灸按摩マッサージ師、鈴木秀秋先生）報告（事務局） P. 3
- (3) 無年金障害者は名乗り出て（救済制度がスタート） P. 4
- (4) みんなのひろば
  - ・朗報！ヘルパーによる痰の吸引行為（事務局） P. 5
  - ・わが家流の在宅介護開始（会員、子の介護） P. 6
  - ・たまたま見つけた娘の論文—障害児教育の特殊性と普遍性—（会員、子） P. 6

## **第28号 2004.12.15 発行**

- (1) 全国遷延性意識障害者・家族の会結成会（2004年10月）開催（事務局） P. 1
- (2) 尾辻厚生労働大臣に面会（2004年11月）いたしました（事務局） P. 3
- (3) 学習会（2004年9月、鍼灸按摩マッサージ師、鈴木秀秋先生）報告（事務局） P. 4
- (4) みんなのひろば
  - ・学習会（同上）に参加して（会員、子の介護） P. 6
  - ・その後はケセラセラ（会員、子の介護） P. 7
  - ・本当の心の声（障がい当事者） P. 7

## **第27号 2004.09.01 発行**

- (1) 第13回意識障害学会（2004年7月、つくば市）参加報告（会員） P. 1
- (2) 2004年度わかば総会報告（事務局） P. 2
- (3) 勉強会（2004年4月、作業療法士、加藤さとみ先生）報告（事務局） P. 3
- (4) リハビリ勉強会を終えて（勉強会講師） P. 3
- (5) 交通事故後遺障害者家族の会からの報告（同会事務局） P. 4
- (6) 家族の会全国組織いよいよ発足（事務局） P. 5
- (7) 新規開拓の店でランチの会（事務局） P. 5
- (8) みんなのひろば
  - ・あれから3年（会員、子の介護） P. 6
  - ・わかばの役員としてお手伝いを（新任役員、子の介護） P. 7
  - ・日々の不安に耐えて（会員、子の介護） P. 8
  - ・2年目の思い—事故、救急病院、治療、転院、現在、希望—（会員、弟の介護） P. 10

## **第26号 2004.04.01 発行**

- (1) 第2回意識障害を考える会（2004年2月、名古屋市）報告（事務局） P. 1
- (2) 遷延性意識障害者と家族の会、第2回全国連絡会準備会報告（事務局） P. 4
- (3) 定例会（2003年12月、会員同士の話し合い）で話し合ったこと（会員） P. 4
- (4) みんなのひろば
  - ・「生かされる」から「生きる」へ（会員、子の介護） P. 7
  - ・成人の日を迎えた娘（会員） P. 10
  - ・奇跡を願って「早朝修行」（会員、妻の介護） P. 11

## **第25号 2004.01.01 発行**

(1) 「意識障害を考える会」が発足 (2003年7月、名古屋市) (事務局)	P.	1
(2) 同会パネルディスカッションに参加して (事務局)	P.	1
(3) 「口から食べることへの支援学習会 (2003年7月、加藤歯科医院、加藤武彦先生、村田歯科医院、黒岩恭子先生) レポート (事務局)	P.	3
(4) 同学習会参加者のアンケートから (事務局)	P.	4
(5) 食べること、生きること—歯科往診で見た愛の原点— (加藤先生)	P.	5
(6) 遷延性意識障害患者と家族の会全国連合会 (仮称) 設立準備に向けて (事務局)	P.	6
(7) みんなのひろば		
・8年目の今・・・プールに挑戦 (会員、子の介護)	P.	8
・つらいけど生きててよかった (障がい当事者)	P.	9
・「権力の不正」に抗して (会員、兄の介護)	P.	11

## **第24号 2003.09.01 発行**

(1) 社会に伝えるために一人でも多くの参加を (新代表)	P.	1
(2) 学習会 (2004年4月、東洋英和女学院大学、石渡和実先生) 報告	P.	2
(3) 交通事故後遺障害者の救済活動について (交通事故後遺障害者家族の会代表)	P.	4
(4) みんなのひろば		
・「幸福な障害者」にしてやりたい (会員、子の介護)	P.	6
・イメージからの出発 (会員、子の介護、NPO法人設立経緯)	P.	9
・母の日のプレゼント (会員、子の介護)	P.	10
・楽しみはうしろめたい? (会員、子の介護)	P.	10
・よろしく願いいたします (新役員、夫の介護)	P.	11
・「在宅」に向けて (会員、子の介護)	P.	11
・「たんの吸引」一部患者だけ可能に (事務局)	P.	12

## **第23号 2003.03.01 発行**

(1) 定例会 (2002年12月、会員同士の話し合い) 報告	P.	1
(2) 介護者のストレス (ソーシャルワーカー、草水美代子氏)	P.	2
(3) みんなのひろば		
・痛いけど頑張る人指一本 (会員、子の介護)	P.	3
・焦らず、諦めず、ダメ元の精神で (会員、子の介護)	P.	4
・慌ただしい4ヶ月 (会員、子の介護)	P.	5
・息子の人生はこれからが始まり (会員、子の介護)	P.	6
・第11回意識障害学会に参加して (会員、子の介護)	P.	7
・胃ろう娘の腹臥位をこんな方法で (会員、子の介護)	P.	8
・「わかば便り」をもっと多くの人に (会員、子の介護)	P.	8
・消極的安楽死とは何か? (ソーシャルワーカー)	P.	8
・残りの1パーセントが輝いていた (会員、子の介護)	P.	9
・わかば便り第22号にふれて (賛助会員)	P.	10
・天命まで「ひと」は生きる (会員、母の介護)	P.	11

## **第22号 2002.06.01 発行**

(1) 定期総会 (2002年4月) 報告	P.	1
(2) みんなで汗を流そう (横浜共生会理事長、酒井嘉和氏)	P.	1
(3) 役員からのメッセージ・どうぞよろしく		
・私たちの実情を社会に伝えてゆきましょう (代表)	P.	3

・より良い「わかば」にするために（事務局長）	P. 4
・交流と情報交換が大切と実感（役員）	P. 5
・ゲー、チョコキ、パーができた（役員）	P. 6
・問題意識を持って（役員）	P. 6
・役員会に参加して（役員）	P. 7
・いろいろ勉強したい（役員）	P. 7
(4) 「身体障害者療護施設」とはどんなところ？（療護園介護職）	P. 7
(5) あなたのご意見、ご感想をお寄せ下さい（編集部）	P. 8
(6) 消極的安楽死は苦痛を伴わないのか（会員、子の介護）	P. 9
(7) 脳は甦る「音楽運動療法の理論と応用」に参加して（看護師）	P. 11
(8) みんなのひろば	
・ほらほら口を閉じて（会員,この介護）	P. 12
・原点に戻るつもりで（ソーシャルワーカー）	P. 13

## 第21号 2002.01.01 発行

(1) 今年も皆様とともに（代表）	P. 1
(3) 定例会（2001年12月）報告（事務局）	
～厳しい医療行政改革の中で個人で出来ることを点検する必要性～	P. 2
(3) 厚生労働省へ3回目の訪問（事務局長）	P. 4
(4) 東京都庁にも行きました（事務局長）	P. 4
(5) 横浜市に全国初の「親亡き後」の障害者条例が誕生（事務局）	P. 5
(6) ランチの会へようこそ（事務局）	P. 6
(7) 「ウィメンズ・フェロウシップ 2001～シャルレ女性奨励賞～」から助成金を頂きました	P. 7
(8) みんなのひろば	
・はじめまして（筑波大学研究生）	P. 8
・ま、気長にいこう（会員、子の介護）	P. 8
・在宅介護への歩み（会員、子の介護）	P. 11
・もう後ろを振り返らない（会員、子の介護）	P. 13
・意志伝達装置に感謝（会員、子の介護）	P. 13
・保険で自己防衛をしましょう（役員）	P. 15
(8) 学習会（2001年9月、医学博士、山田俊彦先生）報告	P. 16

## 第20号 2001.09.01 発行

(1) 盛会だった全国家族会交流会（事務局）	P. 1
(2) 第10回意識障害治療学会開かれる（事務局）	P. 2
(3) 厚生労働省に第2回目の陳情（事務局）	P. 3
(4) 参議院国土交通事故後遺障害者家族の会委員会で陳述（役員）	P. 5
(5) 個別訪問による紙屋克子先生の看護指導（事務局）	P. 8
(6) 2,001年ケア付き青森ねぶた祭り“じょっぱり隊”に参加しました（事務局・代表）	P. 9
(7) みんなのひろば	
・意識障害治療学会に参加して（会員、子の介護）	P. 11
・今からだって遅くはない（会員、子の介護）	P. 11
・はじめて「わかば」を知って（看護学生）	P. 12
・ちょっと面白い本をご紹介します（会員、匿名）	P. 12
・やさしい看護婦になりたい（看護学生）	P. 12
・重度交通事故加害者の処分に思う（会員、子の介護）	P. 13
・ブラジルの空から（ブラジル在住日本人、子の介護）	P. 14

## **第19号 2001.06.01 発行**

- |                                     |       |
|-------------------------------------|-------|
| (1) 定期総会 (2001年4月) 報告 (事務局)         | P. 1  |
| (2) 一隅を照らす者、即ち国宝なり (事務局長)           | P. 1  |
| (3) 新事務局員の顔ぶれ (ひとことごあいさつ、10名)       | P. 2  |
| (4) わかばの皆さまと共に (元運輸大臣、伊藤茂氏)         | P. 4  |
| (5) 厚生労働省に、初めて私たちの実態を訴えました (事務局)    | P. 5  |
| (6) 第10回「意識治療学会」に参加しましょう (事務局)      | P. 6  |
| (7) 介護に必要な男性の排尿ケアの一方法 (千葉療護センター総婦長) | P. 7  |
| (8) みんなのひろば                         |       |
| ・皆さまと力を合わせて (会員、妻の介護)               | P. 9  |
| ・卒業式へのメッセージ (会員、子の介護)               | P. 10 |
| ・夫が旅立って (会員)                        | P. 11 |
| ・交通事故の損害賠償 (役員)                     | P. 11 |
| (9) 金融庁に申し入れ～自賠償保険制度改定に向けて～ (事務局)   | P. 14 |

## **第18号 2001.02.01 発行**

- |  |       |
|--|-------|
| (1) 問題解決への一步をいっしょに踏み出しましょう (代表、念頭にあって) | P. 1  |
| (2) 新世紀を迎えて (他会副会長)                    | P. 2  |
| (3) 一人は皆のために、皆は一人のために (他会会長)           | P. 2  |
| (4) 厚生労働大臣にお会いしました (役員会)               | P. 5  |
| (5) 定例会 (2000年12月) 報告 (役員会)            | P. 6  |
| (6) みんなのひろば                            |       |
| ・一日一日を大事にして (会員、子の介護)                  | P. 7  |
| ・息子の笑顔 (会員、子の介護)                       | P. 8  |
| ・多くの人に伝えたい (会員、夫の介護)                   | P. 9  |
| ・私とわかば (毎日新聞記者)                        | P. 10 |
| ・看護婦が「わかば」でできること (看護婦)                 | P. 11 |

## **第17号 2000.11.01 発行**

- |                                       |       |
|---------------------------------------|-------|
| (1) 定例会を開催します～みんなの知恵と力を結集しましょう～ (役員会) | P. 1  |
| (2) みんなのひろば                           |       |
| ・入会申込書等に添えられたお手紙等15名                  | P. 2  |
| ・病院に行けばお父ちゃんに会える (会員、夫の介護)            | P. 6  |
| ・レストランでの美味しい「ランチの集い」 (会員、夫の介護)        | P. 6  |
| ・Y様 (入院している主治医からのお手紙)                 | P. 7  |
| ・犯罪被害者支援フォーラムに参加して (役員)               | P. 8  |
| (3) ドクターからの心強いメッセージ (2名)              | P. 9  |
| (4) 第9回「意識障害治療学会」開かれる (事務局)           | P. 11 |

## **第16号 2000.07.01 発行**

- |   |      |
|---|------|
| (1) 定例会 (2000年4月、佐賀医科大学教授、斎場三十四先生) 報告 (事務局) | P. 1 |
| (2) 積極的在宅医療の奨め (医学博士)                       | P. 3 |
| (3) 自賠償保険制度の行方特集                            |      |
| ・親亡きあと一人でも生きてゆける社会を                         | P. 4 |
| ・後遺障害部会の皆様に (代表他)                           | P. 5 |
| ・今後の千葉療護センターの在り方へ望むこと (会員、子の介護)             | P. 6 |

・自賠責保険改善を求める署名 23,200 名を提出しました (役員)	P. 8
(4) みんなのひろば	
・交通事故によって重度後遺障害者となったわが子を見る母親たち (事務局)	P. 9
・桜の季節に思う (会員、子の介護)	P. 12
・はじめまして (学生ボランティア)	P. 12

### **第 1 5 号 2000.03.01 発行**

(1) 定例会 (1999 年 12 月、上田クリニック、上田健志先生) 報告 (事務局)	P. 1
(2) 日本とアメリカの医療を見つめてきて (医学博士)	P. 3
(3) 専門家も協力して解決策を (ソーシャルワーカー)	P. 4
(4) どうか 1 人で悩まずに (言語聴覚士)	P. 5
(5) 交通事故の後遺障害者に救済の道～運輸省が検討部会設置～ (事務局)	P. 6
(6) 医療機関にショートステイ制度～茨城県で実施の運び～ (他会代表)	P. 6
(7) みんなのひろば	
・いつかはきっと (会員、子の介護)	P. 7
・回復への大きな足掛かりに (会員、子の介護)	P. 7
・代表のこと (役員)	P. 8
・ある日の散歩 (会員、夫の介護)	P. 9
・やっとこれまでに (会員、夫の介護)	P. 11
(8) 役員会からお願い	P. 12

### **第 1 4 号 1999.11.30 発行**

(1) ありのままを訴えました (代表)	P. 1
(2) 定例会 (1999 年 9 月) 報告 (事務局)	P. 4
(3) 会運営アンケートの結果がまとまりました (事務局)	P. 4
(4) みんなのひろば	
・千葉療護センターに入院して (会員、子の介護)	P. 7
・「わかば」に入会して (会員、妻の介護)	P. 8
・あるがままの状況を受け入れて (会員、子の介護)	P. 9
・またひとつ強い気持ちになれました (会員、子の介護)	P. 9
・在宅介護を決意 (会員、子の介護)	P. 9
・「入院」って何ですか? (役員)	P. 10
(5) 「三育園 (奈良市)」開設の報告 (役員)	P. 11
(6) 編集後記 (編集担当)	P. 12

### **第 1 3 号 1 周年記念特大号 1999.7.31 発行**

(1) わかばは満 1 歳を迎えました	表 紙
(2) わかばのメンバーを紹介します	P. 1
(3) わかば結成 1 周年によせて (医療従事者、他会代表)	P. 14
(4) ジャーナリストの眼から (TV 東京、読売新聞記者)	P. 16
(5) 運輸省へ行ってきました! (役員)	P. 19
(6) 読んでください (月刊誌「世界」)	P. 20
(7) 7 月定例会報告	P. 21
(8) 役員会の報告	P. 25
(9) 編集後記等	P. 26

## 第12号 1999.6 発行

(1) 5月定例会報告	P. 1
(2) 役員会報告	P. 2
(3) わかば掲示板	P. 3
(4) 編集後記	P. 5

## 第11号・・・不明（お持ちの方は事務局にお知らせください）

## 第10号 1999.02.22 発行

(1) 1月定例会（山口研一郎先生講演）報告	P. 1
(2) 事務局連絡	P. 4
(3) 講演会を終えて	P. 6

## 第9号・・・不明（お持ちの方は事務局にお知らせください）

## 第8号 1998.12 発行

(1) 11月定例会報告	P. 1
(2) 運営委員会報告他	P. 2
(3) 茨城の会、講演会参加報告	P. 3
(4) 他の患者家族会の動き	P. 4

## 第7号 1998.10 発行

(1) 10月定例会報告	P. 1
(2) 事務局報告	P. 5
(3) 編集後記	P. 6

## 第6号 1998.09 発行

(1) 「若者と家族の会」総会と記念講演報告	P. 1
(2) 山口研一郎先生がわかばの特別顧問に	P. 1
(3) 帰りの新幹線車内で話し合ったこと	P. 1
(4) 編集後記	P. 2

## 第5号 1998.08 発行

(1) 8月定例会報告	P. 1
(2) 会員名簿の作成	P. 2
(3) 事務局報告	P. 3
(4) 編集後記	P. 4
(5) 河野義行氏講演会案内	P. 5

## 第4号 わかば設立・発足記念号 1998.07 発行

(1) 7月11日発足式報告	P. 1
(2) 親子心中についてのフリートーク	P. 1

(3) 事務局報告	P.	2
(4) 家族の会「わかば」設立に寄せて（初代代表、藤井恵三子氏）	P.	4
(5) 編集後記	P.	5

第1号及び第3号・・・・不明（お持ちの方は事務局にお知らせください）

第2号は設立のための議事録的なものですので割愛します

以下余白